

V 呼吸ケアチーム (RST)



医師、看護師、理学療法士(PT)、臨床工学技士(CE)、歯科衛生士のメンバーで人工呼吸器からの離脱や人工呼吸管理中の患者のケアに関して介入している。診療報酬においても「A242 呼吸ケアチーム加算(週1回)」として150点が算定できる。ラウンド回数などを考えると必ずしも病院収益に貢献するわけではない。しかしながら、本院が標榜する「チーム医療の推進」に関して、呼吸ケアチームはまさしくチーム医療を具現していると自負している。

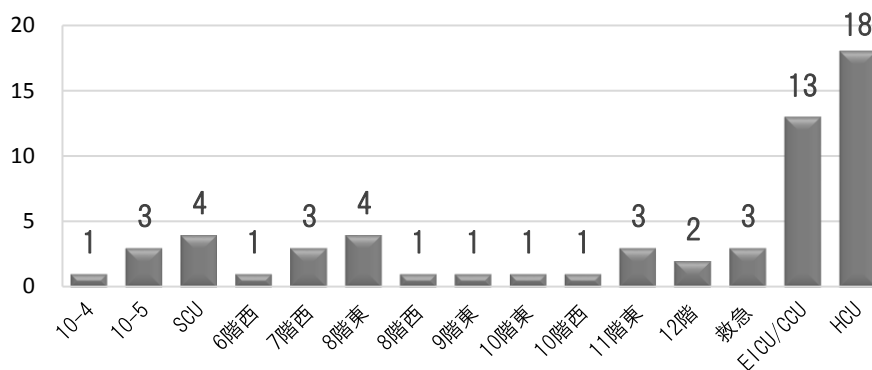
今後一般病棟における「重症度、医療・看護必要度」が上がれば、必然的に一般病棟で呼吸状態の不安定な患者さんが増加すると予想される。そういった状況を想定し、なるべく早い時期に情報を得て早期介入を進めていきたい。現状では各種ユニットが、介入開始病棟でユニットを終了するケースも多く、ユニットから一般病棟へ転棟する際、継続して介入することで患者さんの呼吸管理を継ぎ目なく行えるようにしたい。

また全ての医療スタッフに、呼吸関連異常の早期発見が治療の質を向上し、いわゆる医療事故を抑制することを伝えていきたい。このためにはラウンドなどで顔の見える状況での議論を継続し、講習会などの活動も続けていきたい。

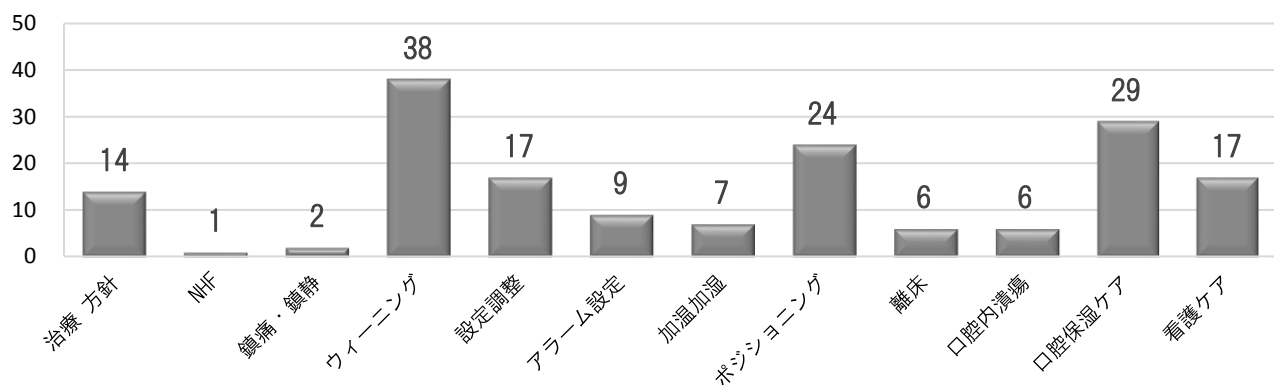
V-1 29年度ラウンド状況

年間の介入件数60件
平均ラウンド回数3.7回
(最小1回, 最大19回(継続中))

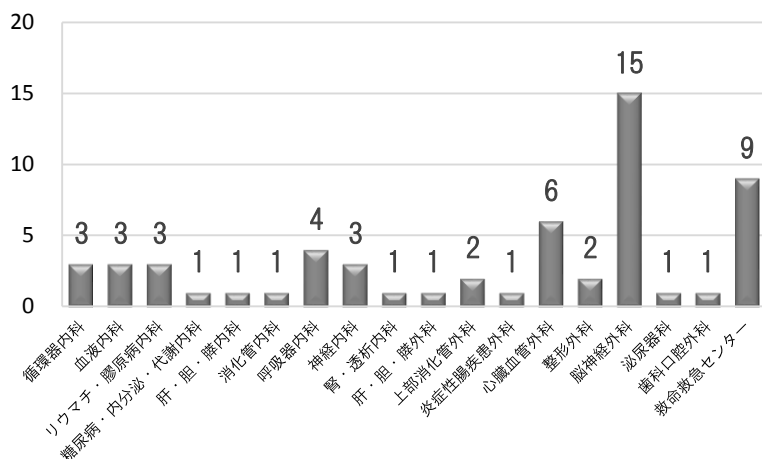
V-2 29年度ラウンド病棟(介入時の病棟)



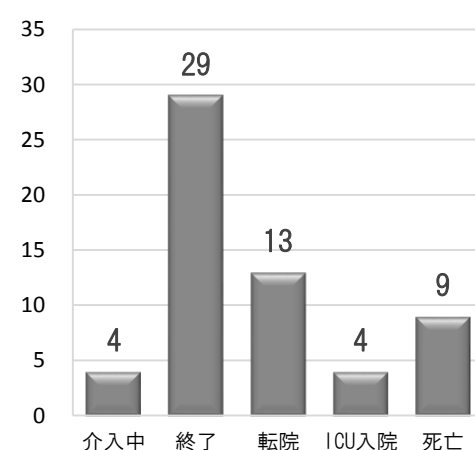
V-3 介入目的



V-4 診療科別介入患者数



V-5 転帰別患者数



※29年度よりグラフを変更